

総合工学委員会・機械工学委員会合同
計算科学シミュレーションと工学設計分科会小委員会の設置について

分科会等名：計算力学小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>計算力学は理論、実験に続く第三の手法としてもものづくり、環境問題などにおいて欠かせないものとなっており、その学術は急速に発展している。</p> <p>世界的には国際計算力学連合 (International Association for Computational Mechanics ; IACM) が、アジアにおいてはアジア太平洋計算力学連合 (Asian Pacific Association for Computational Mechanics ; APACM) が計算力学分野の学術団体連合であり、それぞれ2年ごと及び3年ごとに国際会議を主催している。我が国においては複数の計算力学関連学会があり、本小委員会ではそれらの学会代表者が集まり、国際連携や国際貢献のあり方、アジアや世界との連携方策を議論し、計算力学の将来の方向性を検討する。</p> <p>また、これまで毎年継続して開催している計算力学シンポジウムを企画する。</p>
4	審議事項	<p>1. 計算力学に関する今後の国内体制や国際連携、国際貢献、アジアにおける連携のあり方</p> <p>2. 計算力学シンポジウムの企画に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和6年5月31日～令和8年9月30日
6	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算力学関連8学会 (可視化情報学会、CAE 懇話会、日本応用数学会、日本機械学会計算力学部門、日本計算工学会、日本計算数理工学会、日本計算力学連合、日本シミュレーション学会) より代表者が委員に加わる。 ・ 毎年、各学会が持ち回りで幹事学会となり、計算力学シンポジウムを企画・開催する。